

甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）に対する意見と上下水道局の考え方

No.	意見	上下水道局の考え方
1	<p>R6年1月より心経寺町地内の麦の家が新しくたてかえになります。重度の方が約50人います（入所している）。働いている人も50人位います。このようなことも少しは考えてほしいです。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想[下水道計画区域の見直し]（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>麦の家につきましては、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）に隣接した建替えのため、下水道に比べて災害に強い合併処理浄化槽での汚水処理で、災害による被害の軽減に努めていただきたいと思います。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
2	<p>軒並み公共料金も値上がりする中で、甲府市の下水道料金は、踏ん張っていただいていると感じております。</p> <p>そうした中でも、今後 下水道料金の値上げは、避けて通れないと思いますが、やるべきことを、やっていただければ、やむを得ないと思います。</p> <p>また、能登半島地震の発生で、改めて地震の恐ろしさを認識しましたので、被災した時の対応策や、ライフラインの地震対策を早急に進めていただきたい。</p>	<p>甲府市の下水道事業は、供用開始から60年以上経過しており、膨大な資産を有している中で、更なる下水道事業の健全化に取り組んでまいりますので、下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>今年1月1日「令和6年 能登半島地震」が発生し、被災地の支援活動として、上下水道局から給水車による応急給水のため、継続して職員を派遣するなど、甲府市としても様々な支援をしていますが、被災地の惨状を見るにつけ、本市においても水道や下水道をはじめとした各施設の耐震化等の災害対策を、より早く進める必要性を感じています。</p> <p>こうした中で、今年度は11月18日に「甲府市上下水道事業業務継続計画（BCP）」に基づき、全庁訓練を実施しており、継続的な訓練で職員への防災意識の向上とともに、災害対応の手順の定着を図り、住民生活にとって重要なライフラインである上下水道事業が、大規模災害時においても、迅速かつ高いレベルで、その機能と役割を、維持・回復することに努めるため、平成21年度から進めております地震対策計画において、今年度に「甲府市下水道総合地震対策計画（第4期）」を策定し、地震対策の加速化を目指してまいります。</p>
3	<p>先日、中道町の道の駅に行きました。とてもきれいに整備され、周りも様々な整備を進めていました。</p> <p>甲府市としてかなり投資をしているようですが、大丈夫ですか。中道町との合併による影響で、市川三郷町のようなものではないでしょうか。</p> <p>費用対効果のない地区への下水道整備の負担は、長年下水道を使用している私達が負担するのでしょうか。</p> <p>もしそんなお金があるなら、近年のゲリラ豪雨で悩まされており、都市計画税も払っている地区の対策を進めてください。</p>	<p>人口減少等による継続的な水需要の減少に加え、エネルギー価格等の影響もあり、今後の経営状況が大きく悪化していくことが見込まれ、老朽施設の更新、自然災害に備えた対策等の課題も抱えています。</p> <p>また、気候変動に伴う降雨量の増加や短時間豪雨の頻発などによる内水氾濫の被害リスクに対して、水防法の改正による雨水出水浸水想定区域を令和7年度末までに指定するとともに、下水道による浸水対策のマスタープラン「甲府市雨水管理総合計画（雨水管理方針）」の策定を進めております。</p> <p>市民生活への影響も十分に考える中で、下水道を将来世代まで守り続けるため、健全な事業運営を目指してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
4	<p>現在のところ、下水道整備であっても、将来、人口減少が進む中で浄化槽が良いとなることも考えられますので、残りはすべて浄化槽で良いのではないのでしょうか。</p>	<p>ご指摘のようなことは、あり得ると考えます。今回の「甲府市汚水処理施設整備構想[下水道計画区域の見直し]（案）」は、今後30年間の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、災害耐性や汚水処理の持続性等の観点から、下水道又は合併処理浄化槽の判定をしています。</p> <p>次の下水道計画区域の見直しでも、その時の状況と将来予測を的確に行って、最適解を出してまいりますので、引き続き、甲府市上下水道局の事業運営に、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
5	<p>下水道計画区域の見直しについて、甲府市中心経寺町地内の工事中止は、滝戸川の上流に位置する心経寺地区で汚水を河川に流すことにより、下流に住む自治体としては、河川の水を自治会内に流し生活用水としても活用している状況の中、健康被害など及ぼす恐れがあります。</p> <p>また、汚水による河川の汚染により魚が住めなくなるなどの影響を及ぼします。</p> <p>つきましては、下水道計画区域の見直しを撤回し、甲府市中心経寺町地区の早期着工を望みます。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想[下水道計画区域の見直し]（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>

甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）に対する意見と上下水道局の考え方

No.	意見	上下水道局の考え方
6	<p>心経寺地区の合併処理浄化槽の設置要望について中畑町地区では、滝戸川と心経寺川の合流する数メートル下流の堰堤場所に稲堰用水路が設置して有ります（中畑地区、上向山地区、下向山地区）の稲作等に用水を毎年5月～9月末迄利用する為に汚水が無いよう浄水が必要となります。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想[下水道計画区域の見直し]（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>なお、浄化槽事業を所管する環境部 環境保全課では、単独処理浄化槽又はくみ取り槽から合併処理浄化槽に切替える場合、費用の一部を補助する制度を設けておりますので、ご活用ください。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
7	<p>旧中道町内心経寺地区公共下水道事業の整備中止について、同じ甲府市民、地域の仲間として、非常に残念であり、強く不満を覚えます。また、現在合併浄化槽の設置がしてある家や単独浄化槽の家では、下水道工事が終了すれば浄化槽を廃止して下水管に繋ぐ予定だったと聞いております。</p> <p>インフラ整備が出来ないと地域の衰退が始まり、更に人口減少に加速がかかります。しかし誠に残念でありませんが総合的な判断により中止となった事は現実と受けとめて次の事柄を強く要望します。</p> <p>単独浄化槽から合併浄化槽に切り替え時また合併浄化槽を新たに設置する時には工事費を含め100%の補助と、併せてメンテナンス費用の補助をお願いしたいと思っております。</p> <p>十分な補助がなければ、現在の単独浄化槽のまま生活雑排水等の汚れは解消出来ず、下流域の生活者の皆様に迷惑をかける事になり、それにより新たな問題が発生する事も考えられます。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想[下水道計画区域の見直し]（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>また、いただいたご意見等につきましては、関係部局と情報共有させていただくとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
8	<p>私は、滝戸川下流に住んでいる者ですが、甲府市汚水処理施設整備構想（案）下水道構想の見直しに関して、意見を提出させていただきます。</p> <p>今回の下水道事業計画の見直しについて、滝戸川上流に位置する心経寺・中畑地区は、経済性判定の結果から個別処理有利と判定されたということですが、下水が全域で完備することにより、滝戸川河川が、昔ながらの清流を取り戻すことを期待していた私にとっては残念でなりません。</p> <p>滝戸川の上流部では、個々で合併処理浄化槽を設置することになるということですが、下水道が設置されないことにより、すべての世帯の家庭用の炊事・洗濯・風呂等の雑排水が合併浄化槽できちんと処理されることは個々の世帯の事情もあり非常に難しいのではと思われるからです。浄化槽設置のために、補助金も用意されているとのことですが、すでにトイレだけの単独処理浄化槽を設置している世帯では、わざわざ新たに経費をかけて合併浄化槽に設置し直すことは難しいのではないのでしょうか。</p> <p>経済性、土砂災害リスクについては理解しておりますが、子供のころよく遊んだ滝戸川の昔のような清流と豊かな自然を取り戻してほしいのです。</p> <p>是非、この地域の下水道について今回の計画を再考するとともに、このまま個別処理と決定されるのであれば、少しでも合併浄化槽がこの地域で普及し易いように導入するための制度や施策について、ご検討くださるようお願いいたします。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想[下水道計画区域の見直し]（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>また、いただいたご意見等につきましては、関係部局と情報共有させていただくとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
9	<p>水道の場合は知らないうちに心経寺からひいたわけですが下水は心経寺は上流ということで川に流すのはいけないと思っていました。川に流してもいいと言うことでしたら排水できる様に配管して下さい。</p> <p>下水道がなければ若い人が家をたてる人もいないし若い人も住む人がいなくなり心経寺も人がいなくなります。</p>	<p>合併処理浄化槽からの処理水につきましては、最寄りの河川・水路・側溝等へ流していただくようお願いいたします。</p> <p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想[下水道計画区域の見直し]（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>

甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）に対する意見と上下水道局の考え方

No.	意見	上下水道局の考え方
10	<p>平成18年に宮島市長さんは税金は安い方へサービスは高いほうへあわせますと言っていたけど私はそれはあまり感じられないと思います心経寺区民が浄化槽を入れてもらいたいと言っているのに樋口市長さんは要望を聞き入れてもらいたいです。</p>	<p>今後とも下水道事業の健全化に努めてまいりますので、引き続き、甲府市上下水道局の事業運営に、ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」に対するご質問等につきましては、上下水道局工務部 計画課（267-8017）まで問い合わせをお願いいたします。</p>
11	<p>H24年度のアンケート調査をもとに今回下水道を入れるかどうか、判断基準になっている様ですが、親の代・子の代と考え方、必要性など違っていると思います。入れる、入れないに関わらず地区に必ず下水道の元をひいて下さる方が良いと思います。元があればそこにつなげる事が出来ます。全くひいてないと出来ません。</p> <p>水道管入れる前に再度、調査の見直しを甲府市がする必要があったのではないかと思います。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>そのため、平成24年度のアンケート調査結果は判断基準にしておりません。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
12	<p>中道の時は心経寺地区に下水を入れる事になっていたのに、合べいしたら下水を止める事になったのになってなかった。</p> <p>それはおかしい平等のサービスになっていないなら市民税を下げてください。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>なお、上下水道局は、公営企業として、独立採算制が原則のため、税金ではなく皆さまからの使用料収入等で事業運営を行っております。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
13	<p>今の地方が抱える問題が、そのまま下水道事業に反映していると感じました。当地域の下水道計画が見直されるようですが、あらためて、住まいの周辺の状態を感じました。また、下水道事業の見直しにより、さらに人口減、高齢化、防災対策の遅れなど無いようにな、見直しであってほしいと思います。</p> <p>また、見直しにより、下水道を進めるにしても、浄化槽を進めるにしても、費用面での負担増につながると思いますので、補助等を検討していただけたらと思います。また、下水道が入らないならば、合併浄化槽への工事や等、浄化槽の定期的な維持管理への負担や、その後、浄化槽の交換時期などの対応に対する補助を、今以上に検討いただけたらと思います。</p>	<p>浄化槽事業を所管する環境部 環境保全課では、単独処理浄化槽又はくみ取り槽から合併処理浄化槽に切替える場合、費用の一部を補助する制度を設けておりますので、ご活用ください。</p> <p>いただいたご意見等につきましては、関係部局と情報共有させていただくとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>今後とも下水道事業の健全化に努めてまいりますので、引き続き、甲府市上下水道局の事業運営に、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
14	<p>個別処理の判定に断固反対します。</p> <p>旧中道町の心経寺地区だけ置き去りにしないで下さい。人口減少と高齢化の進行はどの地区も同様です。当地区には高齢者施設の「麦の家」と「あいケアセンター」が運営されており、個別処理でなく集合処理が必要ではないかと思います。</p> <p>現状の浄化槽では環境面、衛生面に問題があります。後継者がいない高齢世帯は現状維持の個別処理でもよいが、後継者のいる多くの世帯は公共下水道を要望しております。要望が通らなければ、この地区に若者や後継者は育ちません。更らに新住民も来てくれません。より高齢化が進み限界集落になりかねません。</p> <p>経済性や費用対効果も大事ですが、当地区に公共下水道を整備していただければ、他地区並みの70%程度の接続率は可能です。</p> <p>中畑町に続いて心経寺町に集合処理（下水道管きよ）が整備される事を期待しています。</p> <p>個別処理ではなく集合処理を一日も早く待っています。多くの町民の「悲願」「念願」です。</p> <p>※心経寺町の後継者の為に若者の為に未来のある明るい子供達の為に「公共下水道」を残そう。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>

甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕(案) に対する意見と上下水道局の考え方

No.	意見	上下水道局の考え方
15	<p>心経寺地区が下水道計画から外れることは地域的に困難であることは理解しますが、地域住民が納得する情報をもうすこし提示いただきたい。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮に下水道導入時の初期費用負担と月々の金額(各戸の出費)</li> <li>・合併浄化槽にした時の各戸の維持費(ぬきとり、保守点検、法定点検、電気代)</li> </ul> <p>各戸にかかる(平均)の具体的な費用比較を知りたいです。わかりやすく。</p> <p>また、単独⇒合併は補助が出るとありますが、合併⇒合併への取替えについても例えば長期使用による劣化を理由になど、条件によっては補助いただけるよう検討をお願いしたいです。</p>	<p>下水道にかかる初期費用ですが、まず、受益者負担金として、1平方メートル当たり単価280円に敷地面積を乗じた金額がかかり、次に宅内の排水設備工事費がかかりますが、敷地の大きさや建物の配置等で異なるため、一概に金額をお示しすることは難しいです。また、工事費などの補助制度は設けておりませんが、融資あっせん制度等があります。</p> <p>合併処理浄化槽の維持管理費(法定検査費、保守点検費、清掃費など)につきましては、平成26年1月に国土交通省・農林水産省・環境省の3省が合同で公表した「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」より、5人槽で6.5万円(基/年間)、7人槽で7.7万円(基/年間)と公表していますので、参考にしてください。</p> <p>単独処理浄化槽又はくみ取り槽から合併処理浄化槽への切替えに関する補助制度につきましては、環境部 環境保全課が所管となりますが、現状では、浄化槽の維持管理や合併処理浄化槽から合併処理浄化槽の更新に補助制度はありません。</p> <p>いただいたご意見等につきましては、関係部局と情報共有させていただくとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>今後とも下水道事業の健全化に努めてまいりますので、引き続き、甲府市上下水道局の事業運営に、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
16	<p>行政人口における公共下水道を使うことが出来る人口比率は中道地区を含む甲府市全体で96.35% 甲府市の3.65%が個別処理である。わずか3.65%を残して計画終了とは残念である。あくまで案なのであれば10年以上も前から心経寺にも上下水道が通ると言われ待っている家庭もあることを知りもう一度案を見直してもらいたい。</p>	<p>甲府市は、北部や東部の一部地域等の下水道事業計画区域外や、南部(古関町・梯町)の農業集落排水区域がありますので、市民の皆さま全員が下水道を使用できる状況には至りません。</p> <p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕(案)」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
17	<p>1月22日に上下水道計画区域の見直しの説明会をききました。それによると心経寺は人口減少と高齢化が進むことと土砂災害リスクが高い地域という理由で上下水道を引くにはふさわしくないとのことでした。心経寺は今まで土砂災害はほとんどおきておらず上下水道を引かない方が、人口減少・高齢化をより進めてまいります。次世代の人々が快適に暮らせるように上下水道はぜひ引いて頂きたいと思っています。過疎化を防止するためにも上下水道を引いて頂くことが心経寺町民の念願であり希望であります。どうか町民の希望を消さないで下さい。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕(案)」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、上水道につきましては、耐震性のある鑄鉄管への更新工事を計画的に実施しております。</p>
18	<p>平成24年のアンケートへの対応がよくなかったことが旧中道町で心経寺自治会地区のみが上下水道整備からはずされた理由のひとつになっているのではないですか？その頃私は庭先で話しかけられました。おそらく上下水道に対する住民の意識調査のようなものだったと思いますが私は心経寺に住んでいて何の不満もないというように答えました。これらの2点から、心経寺地区は上下水道の整備を希望していないと判断されたのなら、それは大まちがいです。上下水道を整備するかどうかの判断資料になると知っていれば「絶対上下水道を整備してほしいです。」と答えていました。その後、地区とし上下水道整備をお願いし続けてきましたがとりあって頂けませんでした。心経寺地区に上下水道整備をしていただけるようお願いいたします。旧中道地区で心経寺地区だけが整備していただけないことに反対します。将来心経寺地区が住みやすい地区として残っていくために必要だからです。</p> <p>「過疎になっていく地区です。」「だから切り捨てます。」でいいのでしょうか？「土砂災害の可能性のある地区です」⇒「切り捨てます。」でいいのでしょうか。</p> <p>限られた予算の中で優先順位をつけなければならないことは理解できます。例えばリニア駅周辺の開発が最優先になることもわかります。</p> <p>時期が遅くなっても、上下水道整備地区にしておいてほしいです。現状のままで推移する時間が長くなってもがまんします。</p> <p>心経寺地区を上下水道整備地区からはずすことに絶対反対です。どうかよろしく申し上げます。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕(案)」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>そのため、平成24年度のアンケート調査結果は判断基準にしておりません。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、上水道につきましては、耐震性のある鑄鉄管への更新工事を計画的に実施しております。</p>

甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）に対する意見と上下水道局の考え方

No.	意見	上下水道局の考え方
19	<p>心経寺町には古い歴史があります。平安時代の密教寺院・心経寺（今は安国寺となっている）のあったところであり、猪山の山林の所有するとても裕福な村でした。北側にも小高い山があり、その懐につつまれるようにある日当たりのよい住みやすいところです。農免道路とトンネルの開通により笛吹市とも直につながる便利なところとなりました。</p> <p>甲府市に合併して、18年となりますが、石綿の水道管が使用された甲府市最後の場所となりました。その水道管の入れ替え工事がやっと今完成しました。本当にありがたいことです。</p> <p>私は平成26・27年と心経寺の自治会長を務めました。心経寺に下水道管が引かれないことが唯一の気がかりでした。旧中道町時代からの懸案（上九一色地区には合併以前に引かれておりましたが）であり、心経寺にも必ず引かれるものだと思い込んでいました。平成23年ころ「平成32年度末までに100パーセントを目指す」という説明も受けていました。しかし中畑までは来たものの心経寺まではつながりませんでした。</p> <p>気になったので27年の12月、下水道課に確認しました。第2係の雨宮さんから以下のような回答をいただきました。</p> <p>「平成24年に心経寺地区を対象にしたアンケートによると、その回収率も悪く、回答者のなかの設置希望もそんなに多くはなかった。現在、計画区域にはなっているが、まだ認可区域には入っていない。10年計画なので、5・6年の間に検討し、今後の工事に追加予定だ・・・」という返答をいただいた。</p> <p>そして今回の説明会。心経寺地区はそっくり計画区域外として個別処理の対象となってしまった。大変なショックである。少子高齢化の進む中、地区の衰退も懸念されてはいるが、これ以上の衰退をストップし、新たな若者の住める場所にするためには、下水道の設置は必須であります。是非とも念願を聞き入れてください。地区民の切実な叫びです。そのような意味でも、今回の計画を根本的に是非とも見直していただきたいです。</p>	<p>旧上九一色村の古閑町と梯町は、農業集落排水施設が整備されており、公共下水道は整備されておりません。</p> <p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、上水道につきましては、耐震性のある铸铁管への更新工事を計画的に実施しております。</p>
20	<p>財政、予算面で制約があると思いますが住民の将来を考え、今後住みやすく発展するにはどうすれば良いかという立場で物事を考えてほしいと思います。人口減少にならないような施策をお願いします。</p> <p>合併処理浄化槽については全額補助金の対象となるよう希望します。</p>	<p>浄化槽事業を所管する環境部 環境保全課では、単独処理浄化槽又はくみ取り槽から合併処理浄化槽に切替える場合、費用の一部を補助する制度を設けておりますので、ご活用ください。</p> <p>いただいたご意見等につきましては、関係部局と情報共有させていただくとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
21	<p>現状のままで良いと思う。</p> <p>もし合併処理浄化槽にする場合は全額補助にして欲しい。</p>	<p>浄化槽事業を所管する環境部 環境保全課では、単独処理浄化槽又はくみ取り槽から合併処理浄化槽に切替える場合、費用の一部を補助する制度を設けておりますので、ご活用ください。</p> <p>いただいたご意見等につきましては、関係部局と情報共有させていただくとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
22	<p>現状維持ですが、2年に1回位のくみ取りをしています。</p> <p>下水道が通らないなら、くみ取り費用の補助金を支給していただきたく思います。</p>	<p>甲府市では、くみ取り費用に対する補助制度はありません。</p> <p>浄化槽事業を所管する環境部 環境保全課では、単独処理浄化槽又はくみ取り槽から合併処理浄化槽に切替える場合、費用の一部を補助する制度を設けておりますので、ご活用ください。</p> <p>いただいたご意見等につきましては、関係部局と情報共有させていただくとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>

甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）に対する意見と上下水道局の考え方

No.	意見	上下水道局の考え方
23	<p>下水道については、大いに賛成です。 中畑町まで来ているのだからその延長でお願いしたい。 使用負担金が増額しても下水道を通して頂きたい。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。 このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。 下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
24	<p>説明会の開催を希望します。</p>	<p>今回、こうふ市民意見提出制度（パブリックコメント）の実施に併せて、甲府市内の5か所で説明会を開催しました。 下水道事業計画の見直しは、都市計画決定の手続きに基づき進めるため、令和6年度以降、改めて各地で住民説明会等を開催する予定ですが、それとは別に説明会を希望される場合は、自治会単位で要望をいただければ、その地区の住民の皆さまに向けた説明会を開催したいと考えております。</p>
25	<p>下水道計画には賛成ですが具体的に掛かる費用や工事日数等、不明な点が多々あります。説明会だけでなく、個別相談を希望します。</p>	<p>下水道事業計画の見直しは、都市計画決定の手続きに基づき進めるため、令和6年度以降、改めて各地で住民説明会等を開催する予定ですが、それとは別に説明会を希望される場合は、自治会単位で要望をいただければ、その地区の住民の皆さまに向けた説明会を開催したいと考えております。その際には、個別で対応させていただきますので、ご相談ください。 また、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」に対するご質問等につきましては、上下水道局 工務部 計画課（267-8017）まで問い合わせをお願いいたします。 今後とも下水道事業の健全化に努めてまいりますので、引き続き、甲府市上下水道局の事業運営に、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
26	<p>旧中道町時代は、町全体に下水道を埋設する予定であったが、甲府市合併後は、いつ下水がくるかとまっていたが、結果的には中止という結果に大変ガッカリしています。 この地で生活していくには、どうしても必要です。又隣の中畑地区までは来ていて、心経寺のみ中止という結果に本当にガッカリです。 今後水道代の値上げなどが考えられますが、私個人は水道代の値上げを実施ならば甲府市の市民税は払わないつもりです。 同じ税金を払ってサービスが異なるのですから、とうぜんと考えます。 水道局の方が何年前まで2人で水道タンクの点検に月に1回来ていました。人件費を減少させるとか、その他の対策をしなければ結果的には同じです。東電を見れば、そのとおりです。 大地震があり、復興に多額のお金がかかるとなると、国民からお金を集めているのが現状です。（今も復興税） 東電は社員しか見ない病院を作ったり、尾瀬の広い土地の所有などあります。 こん回の案については、人口減少、高齢化率、災害区域、空き家、コスト面のことはよくわかりました。ならば、合併浄化槽の補助金を多くするとかして早く合併浄化槽にかえるようなことをしないと環境にもよくありません。 今の浄化槽を撤去するにあたり費用の増額又浄化槽を清掃のお金の援助などのことを考えてほしいです。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。 このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。 また、いただいたご意見等につきましては、関係部局と情報共有させていただくとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。 下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>

甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）に対する意見と上下水道局の考え方

No.	意見	上下水道局の考え方
27	<p>障害者50名の入所施設です。1986年に開設して37年が経過し、現在、施設の老朽化と立地の土砂災害警戒区域から逃れるための改築工事が始まりました。</p> <p>改築にあたり甲府市下水道の整備を期待していましたが、心経寺地区には整備の予定はないとの情報があり、やむなく浄化槽を設計に盛り込みました。</p> <p>そもそも福祉施設を建設するためには近隣住民の理解が不可欠ですが、皆さんの理解を得ること自体がとても困難な状況にあります。その上、下水道が整備されていないということになればなおさらです。</p> <p>麦の家は心経寺自治会のご理解により施設運営をしていますが、今後、他の福祉施設が建設を計画したとしても、下水道の整備がないことを理由に「白紙」ということになりかねません。</p> <p>本構想の説明では、費用対効果、心経寺地区の人口減少、戸数減少に伴い下水道整備はしない、とのことですが、この構想により更に人口減少、限界集落となります。</p> <p>下水道やライフラインを整備し、便利な地区、住みやすい地区をPRすることにより企業誘致や施設誘致、宅地誘致に繋げるような明るい未来構想は甲府市にはないのでしょうか。リニア駅も近く、インターからも近い中道地区は地区全体を甲府市開発地区として整備、研究すべきことと考えます。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
28	<p>構想の説明は、甲府市上下水道局の独立採算や人口減少地区の整備の不採算性により下水道整備はしない、というものでした。民間企業が不採算部門の解散や縮小、労働者の解雇を告げるかのように感じました。</p> <p>全ての事業にコストはかかりますが、ライフラインの整備に独立採算の論理はいかがなものかと。採算が合う、合わないで、やるやらないを決めるものではないかと考えます。</p> <p>企業であれ行政であれ不採算部門はありますが「不採算ではあるが必要な整備」を企業としても、甲府市としても、どう捻出するかは経営者の姿勢の表れです。</p> <p>甲府市の決定として、上下水道局の独立採算の維持のために下水道整備しない地区を決めたのですが、甲府市全体の予算をやり繰りし、捻出し、ライフラインを優先した、地域住民の生活を守る決定を示して頂きたかったです。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>なお、上下水道局は、公営企業として、独立採算制を原則としており、汚水処理にかかる費用は、下水道使用料、国の補助金等を財源に事業運営を行っております。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
29	<p>先日1月22日中道公民館の説明会に出席しました。その時色々ご意見がありビックリしました。自治会長（心経寺区）さんが苦勞しているのがよくわかりました。その時旧中道の時に下水道処理施設整備するお約束ができていたと聞きまたビックリしました。</p> <p>心経寺区の発展の為努力をお願いしたいです。</p>	<p>説明会へご参加いただき、ありがとうございました。</p> <p>下水道事業計画の見直しについて、地域住民の皆さまの意見を踏まえ、都市計画決定の手続きを進めてまいります。</p> <p>今後とも下水道事業の健全化に努めてまいりますので、引き続き、甲府市上下水道局の事業運営に、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
30	<p>不用の為。</p>	<p>今後とも下水道事業の健全化に努めてまいりますので、引き続き、甲府市上下水道局の事業運営に、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>

甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）に対する意見と上下水道局の考え方

No.	意見	上下水道局の考え方
3 1	<p>心経寺町などは浄化槽区域になるとの説明を受けましたが、高齢化、人口減少を考えれば、むしろ公共下水道の計画を見直さずに整備し続けることは、未来を担う若者につけを回すことが明白であり流れには逆らえません。</p> <p>しかし、現行の浄化槽補助は国の補助金を充当しているとのことで、市としての出しは半分？＋公共下水道整備費＋その後の維持管理費が0円なので、公共下水道区域にするのに比べ、市の負担はかなり抑えられることになると思います。よって、現在の全体計画区域に限定するなどし、浄化槽補助金額の拡充をお願いしたいです。</p> <p>たとえ全額補助にしたとしても、公共下水道整備費だけと比べても、安価に済むのは間違いなく、市としては未来永年に渡って、維持管理費を負担しなくてもよいことになりまますので、一度の補助だけで済む選択をする方向ということであれば補助金額拡充をご検討いただくとありがたいです。</p>	<p>浄化槽事業を所管する環境部 環境保全課では、単独処理浄化槽又はくみ取り槽から合併処理浄化槽に切替える場合、費用の一部を補助する制度を設けておりますので、ご活用ください。</p> <p>いただいたご意見等につきましては、関係部局と情報共有させていただくとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>今後とも下水道事業の健全化に努めてまいりますので、引き続き、甲府市上下水道局の事業運営に、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
3 2	<p>下水道の整備を望みます。</p> <p>これから戻ってくる若い世代の人、今住んでいる若い世代の人、下水道の整備をしてくれるという約束を信じてまっていた住民の為に。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
3 3	<p>合併処理浄化槽にしたいけど今年 87 歳です現状でいきたい。</p>	<p>浄化槽事業を所管する環境部 環境保全課では、単独処理浄化槽又はくみ取り槽から合併処理浄化槽に切替える場合、費用の一部を補助する制度を設けておりますので、ご活用ください。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
3 4	<p>写真はモリアオガエルの卵です。昨年 6 月庭の苗代で育てた稲の苗に産卵しました。ヨゴレ始めた川から避難したのかと推測します。蛍、カジカ蛙、沢ガニ等も数が少なくなりました。心経寺地区の心経寺川滝戸川から取水する大堰、稲堰があり用水は中畑、上向山、下向山まで続きます。</p> <p>下水道又は合併浄化槽がなければ上流のヨゴレは下流にいくだけです。</p> <p>同じ甲府市民で平等の行政サービスを受けられないなら市民税の減額又は合併浄化槽費設置費メンテナンス費などの諸費用を市が負担これこそが平等ではないかと思ます。</p>	<p>浄化槽事業を所管する環境部 環境保全課では、単独処理浄化槽又はくみ取り槽から合併処理浄化槽に切替える場合、費用の一部を補助する制度を設けておりますので、ご活用ください。</p> <p>いただいたご意見等につきましては、関係部局と情報共有させていただくとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、上下水道局は、公営企業として、独立採算制が原則のため、税金ではなく皆さまからの使用料収入等で事業運営を行っております。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>



甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）に対する意見と上下水道局の考え方

No.	意見	上下水道局の考え方
35	<p>下水道整備は甲府市と中道町との市町村合併時の公約であり、整備を先送りしながら、約束を破り、憤りを感じずにはいられない。</p> <p>全国的に進行している人口減少と高齢化という一般論を持ち出して、すでに個別に実施を約束した地区の整備を行わないことは裏切り行為で、等しく行政サービスを受けることのできる平等性に違反し、侵害するものだ。</p> <p>都市計画の非線引き地域、土砂災害のリスク等々は、住民の命、居住権が侵害されることのないように、これを守るための考えであるのに、かかわらずこれを理由に、整備を行わないとすることは本末転倒である。</p> <p>また、甲府市合併以降、甲府市並みの高い固定資産税を課税され続けている。</p> <p>下水道の整備を行わないことにより、居住環境が整わないこと自体が、地域の独自性や魅力を失わせる。過疎化を行政自身の手で押し進めるようなものである。若い人が地域に戻って来ようと思っても大きな障壁となる。資産価値の低下が著しい。</p> <p>行政が、平等な行政サービスの実施を放棄し、特定の地域の住民に特別な負担を強いることはあまりに身勝手に私人が浄化槽を自分で設置し維持していくことは酷で困難といわざるを得ない。</p> <p>もし、この下水道整備を行わないという政策を強行に押し進めるのであれば、今まで整備を後送りして意図的にとり残してきた代償として、一戸当たり相当額の補償金の交付を行うとともに、資産価値の低下に伴う固定資産税の評価の大幅な引き下げ、浄化槽設置、メンテナンス費の補助金の交付を行うことを要求したい。</p> <p>（能登半島の人達が大変な災害に会っているが、災害でしかたないから、下水道は復旧しないと言えますか？）</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>また、いただいたご意見等につきましては、関係部局と情報共有させていただくとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
36	<p>長年にわたり下水道整備計画が進められてきて、ほぼ中道地区の殆どが整備されたことは、水道局の皆様のご尽力のたまものと感謝しております。</p> <p>心経寺地区整備計画において、当初地域住民の賛否を問う場面、私は別の地域で生活していたため、その場に立ち会う事はできませんでした。後日先輩諸氏に聞くところによると、当時下水道設備について心経寺地区の住民の中では賛成者が少なかった。そのため心経寺地区は後回しとなり、結局整備が進まないまま現在に至ってしまった。真相は明らかではありませんが、隣の中畑地区は整備が進んでなぜ心経寺地区だけ取り残されてしまったのか。甲府市の説明を聞き経済性判定の結果個別処理有利と聞き、同じ税金を払ってなぜ心経寺だけ？お隣の笛吹市は芦川地区まで整備されていると聞きました。中畑地区と心経寺地区にどれだけの差があるのか疑問に思えてなりません。</p> <p>高齢化が進み個別に浄化槽（合併処理）を設備するにも資金面等課題があり、個別処理を進めていくにはハードルが高いと感じます。中畑地区まで整備が進んでいるなら、心経寺地区も整備を行い、貸付制度等を使用して全戸加入できるようご努力していただきたいと思えます。</p> <p>と私の思いを述べさせていただきましたが、過日の甲府市の説明では、個別処理が決定事項となっているようなので、全戸設置すべく補助金の額について再考していただきたく、よろしくお願い致します。</p>	<p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>また、いただいたご意見等につきましては、関係部局と情報共有させていただくとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>

甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）に対する意見と上下水道局の考え方

No.	意見	上下水道局の考え方
37	<p>日頃から、上下水道事業にご尽力いただき感謝します。ありがとうございます。</p> <p>汚水処理施設整備構想（下水計画区域の見直し）について、説明会開催いただきありがとうございました。東公民館、中道公民館に参加させていただきました。</p> <p>関係する市民の皆様方への周知に、広報とホームページ掲載では、関係者への周知が弱く、ほとんどの関係者は知らない方々が多いと思います。関係する市民宅へ改めて周知してもらいたい。</p> <p>中道公民館開催時、心経寺自治会長が自治会内へ説明会への出席を呼びかけた中多くの住民が出席していただきました。住民からは、となり中畑自治会内まで下水道整備ができていないのに、なぜ我々心経寺自治会内には、整備できないのかなど多くの整備依頼の訴え要望、意見が出されました。</p> <p>また、中道町との合併時では町内全域に下水道整備することで決まっていた事心経寺自治会内への下水道整備をお願い致します。</p> <p>今現在、河川が汚れ田へ水を引いても生活污水が目立つと聞きます。このままだと田を耕作する方も無くなり、耕作放棄地の増加につながります。きれいな河川で子供たちが、川で遊べる川に戻したいので、是非、下水道整備をお願い致します。</p> <p>上下水道局職員の皆様には、大変お忙しいところ恐縮ですが、よろしく願いいたします。</p>	<p>各地区の説明会にご参加いただき、ありがとうございました。</p> <p>こうふ市民意見提出制度（パブリックコメント）に基づき、広報こうふ1月号への掲載や上下水道局ホームページの掲載等で周知を行いました。</p> <p>下水道事業計画の見直しは、都市計画決定の手続きに基づき進めるため、令和6年度以降、改めて各地で住民説明会等を開催する予定ですが、それとは別に説明会を希望される場合は、自治会単位で要望をいただければ、その地区の住民の皆さまに向けた説明会を開催したいと考えております。</p> <p>下水道と合併処理浄化槽は、同等の処理能力を有していますので、放流される水質に大きな違いはなく、合併処理浄化槽の普及により、下水道と同じような効果が得られます。</p> <p>このことから、今回の「甲府市汚水処理施設整備構想〔下水道計画区域の見直し〕（案）」は、今後の人口減少や高齢化を想定するとともに、山梨県や甲府市の都市計画マスタープラン等から将来の都市構造や土地利用を踏まえて、地理的条件や災害時の対応性、汚水処理の持続性の観点から、下水道又は合併処理浄化槽のどちらが有利か総合的に判定しました。</p> <p>下水道計画区域の見直しに対しまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>